

小田原市立中央図書館

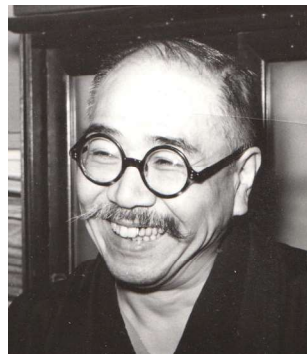
地域資料コーナー通信 第17号

編集/発行 小田原市立中央図書館
地域資料コーナー
〒250-0875 小田原市南鴨宮1-5-30
☎ 0465-49-7807
E-mail: tosho@city.odawara.kanagawa.jp
令和6年9月

シリーズ 図書館の宝もの 2024

武術を極める ～藤田西湖文庫～

日時：令和6年9月25日(水)～10月6日(日) *30日(月)休館
場所：小田原市立中央図書館(かもめ) 2階 地域資料コーナー



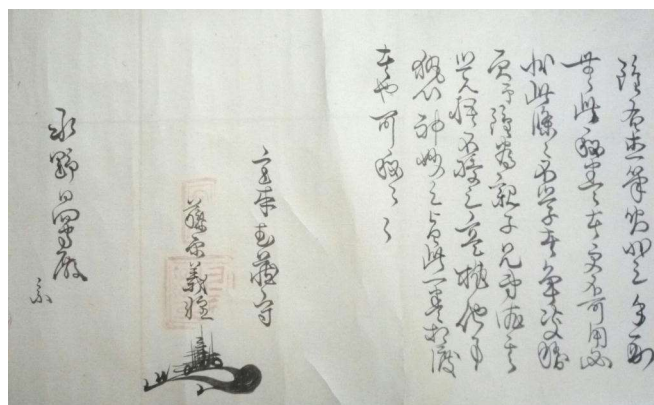
藤田西湖 (1899～1966)

藤田西湖文庫は古武道や武術に関する古文書(筆写を含む)・古書が1246点、卷子(巻物)が605点を数え(目録はホームページで公開)、閲覧できる武道・武術の有数なコレクションとなっています。国内の武術家・武道研究者はもちろん、海外からの閲覧者もあります。

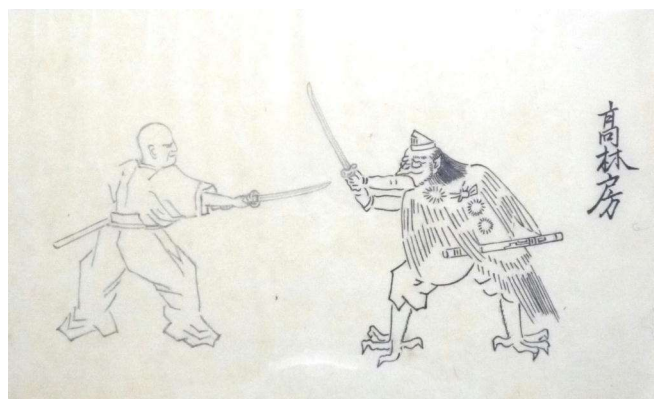
藤田西湖(本名藤田勇治)氏没後、「本は散逸させるな」という故人の遺言にもとづき、昭和49年(1974)3月妻菊枝さんが蔵書などと合わせて(計3268点)小田原市へ一括寄贈され、図書館で整理後、当館の特別集書に加えられました。今年、寄贈から節目の50年を迎えたことから、今回の「図書館の宝もの」では、小田原市民にはあまり知られていない藤田西湖文庫から武術関係の資料を展示し、文庫の内容について藤田氏の人物像や著書とあわせて紹介します。

藤田氏をネットで調べてみると、甲賀流忍術14世を自認し、「最後の忍者」と呼ばれたと出てきます。自叙伝に相当する『最後の忍者 どろんろん』(日本週報社、1958年)によると、生い立ちや忍術を生業とするようになった経緯、さらに戦時中は陸軍中野学校でスパイ教育に従事し、密偵を目的に満州に渡ったと記されていますが、それらの内容は虚実ない交ぜで大部分は創作のようです。展示では、残された藤田氏本人作成のスクラップブックや新聞・雑誌の記事など同時代資料によって、藤田氏の人生と人となりをとどめます。

藤田氏の墓所は板東三十三観音の第五番札所飯泉観音で知られる市内飯泉の真言宗飯泉山 勝福寺にあります。藤田氏と当時の勝福寺峯堅雅住職とが知り合いだったことに由来していますが、なぜ小田原に知り合いがいたのか、また夫人が小田原市への寄贈を望んだ理由については、これまで言及されてこなかった点です。展示では藤田氏と小田原との関係についても迫ってみます。



宮本武蔵 奥伝(部分)



新陰流天狗書巻(部分)

令和元年(2019)に図書館に寄贈された瀧口家文書より、明治39年(1906)3月桐座で興行された歌舞伎の大道具帳を紹介します。瀧口家文書は江戸時代の小田原藩士配島家・瀧口家の古文書を中心に、万治2年(1659)風祭村検地帳写やこの桐座史料が混じる52点の資料から成っています。

江戸時代の桐座は、城下に続く荻窪村の甲州道沿い(寺町と通称)に開設されていた音曲舞太夫大橋家の芝居小屋で、明治18年から大正12年(1923)大震災で廃業するまでは足柄村有力者5名の共同株式運営となります。桐座役員主催(③)とある中戸川為吉・勝股波之助・荻田貞龍・加藤文次郎・津田松五郎が、その出資者たちです。東京の歌舞伎一座も公演し、小田原市街に映画館が複数できるまでは、広く西湘地域の娯楽の王様でした。オッペケペー節の川上音二郎も、明治24年

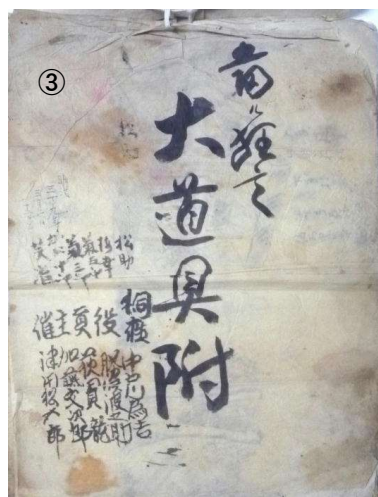
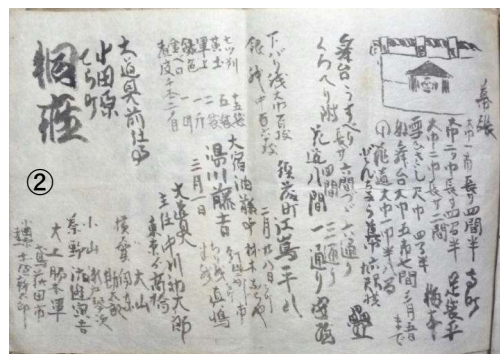
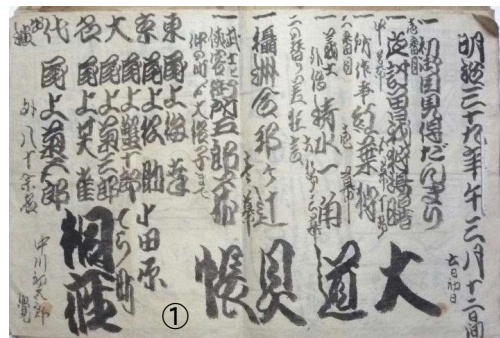
に桐座で乱闘事件を起こしたのち大スターになっていきます。

大道具主任中川初太郎が記した

大道具帳(4枚)と当ル狂言大道具附(14枚)が1綴りになっています。東京大名代の尾上菊五郎一座が3月6日から12日間の興行を打ち(①)、その内容は顔見せの「だんまり」に始まり、小田原といえば欠かせない「夜討曾我」(曾我物語)を5幕、「紅葉狩」「清水一角」「摂州合邦ヶ辻」はそれぞれの名場面をつなぎ、締めめの「侠客御所五郎蔵」では舞台と花道に役者が並び、菊五郎がとうとうと五七調の台詞を語りあげ喝采をあげたのが目に浮かびます。

芝居小屋は2階建てで建坪485坪(約1600㎡)、棧敷席・花道があり、舞台は間口9間(16.4m)・奥行4間半(8.2m)で直径4間(7.3m)の廻り舞台付きだったことがわかっています(石井富之助「小田原の桐座」『神奈川県史』各論編3<文化>)。「清水一角」(裏忠臣蔵)の吉良邸でしょうか、討入場面図では「中央に土橋、此下に切穴」と四角いセリが描かれており(④)、ここから役者が登場したようです。

幕張の材料は寺町足袋平・梅本、紙類は小田原須藤町江島平八から仕入れ、仕上げには東京・横須賀・小山・秦野から手伝いの入っていることも分かります(②)。



【地域資料コーナー 利用案内】

市立中央図書館(かもめ)2階。☎0465-49-7807(直通)
休館日は毎週月曜日、年末年始、特別整理期間。
資料の出納・ご相談は9時～12時、13時～16時45分に承ります。
図書・資料は原則室内での閲覧のみ(郷土図書は貸し出し可)。
〈貴重資料〉電話で事前に閲覧申請・ご予約をお願いいたします。

【編集後記】

諸外国では日本アニメの影響もあり武道人口が増える傾向にある。オリンピック柔道での外国選手メダル増加の理由も、この辺りにありそうです。